

～新装開店てんこ盛り号～

あーお腹いっぱい

OB会長 就任のご挨拶

土屋 正春 ('77年入学)

このたびロスガラOB会長という大役を仰せつかることになってしまいました土屋です。1977年入学で、現役の頃はテナーサックスを吹いてました。OB会では10年ほど前の森野会長から小林会長の時代にかけて会計を数年間にわたり担当していましたので、定期演奏会の時に「会費を払ってくださーい」としつこくつきまとっていた姿が記憶にある方もいらっしゃるかと思います。

OB会の役割と言えば今も昔も変わるものではなく、簡単に言い切ってしまうと「OB間およびOBと現役間とのロスガラとしての交流を深めること」であると思います。OB会報の発行や定期演奏会後のOB総会もそのためですね。

ところで交流を深める手段として、最近はやりのインターネットがロスガラOBの間でも非常に盛んに利用されています。その中心となるものは、ロスガラ・メーリング・リスト(LGML)です。わたしも実際に参加してみるまでわかりませんでした。そこでは本当に交流ができます。それも職場や家庭に居ながらにしてです。交流をさらに深めたい場合には、宴会のスケジュール調整も容易です。いくらでも深くできます。参加者もここ1、2年で大幅に増え、わたしよりも上の先輩方も数多くいらっしゃいます。

インターネットは通信手段のひとつですから、問題はそれを誰がどのように利用するかなのですが、LGMLではいろんな意味でレベルの高いOBが集まっているだけに、非常に密度の濃い高度な利用が行われていると言って良いでしょう。ロスガラOBとしてももう少し交流を深めたいと考えている方、インターネットとはどんなものか興味のある方などは、是非一度覗いてみてください。

ということで、最近また改めて、ロスガラOBってのはすごいメンバーの集まりなんだなあ、と感じています。そんな会の長を大先輩の指名とは言え引き受けてしまったのは、いささかあさはかではなかったかと思う今日このごろですが、幹事ともどもこれからの2年間よろしく願いいたします。

土屋会長のしもべ、新幹事紹介

84年入学で第20回仮装演奏会のコンマスをやりました深田と申します。トロンボーンを吹いてました。現在は古都奈良でのんびりと暮らしています。距離が離れていることもあって、残念ながらしばらくの間、演奏会や各種宴会などに気軽に顔を出すことはできませんが、OB会報作成など、影の実行部隊として精一杯頑張りますので、どうぞよろしく願います。関西方面に来られる際には、
またはまだご一報ください。

自己紹介ですか?そうですね、まず名前は國枝です。「國」は「口」に「或」が入る奴ね。「枝」は「木」偏ですからね、「手」偏だと「技」で、相撲みたいな名前になっちゃいますから。プロフィールは、85年入学、応用物理学科、ドラム担当、現役のときは役職なかった、現住所は川崎市多摩区、電器メーカー勤務なんてとこですか。メールアドレスとか入ると、おたくっばいですかね。
なんですけど。ああ、幹事で唯一の独身てのも入れといてください。

あと、抱負もなきやまずいか。幹事の仕事、精一杯やりますってのね。このまま記事にしちゃだめですよ。(談)

池田直人: 本名同じ。S41.10.11生まれ。野郎。東京生まれの茨城育ち。中飛ばして、S61東工大入学(4類)&ロスガラ入部。現役時代はTsおよびジャーマネ担当。身体を壊しつつもどうにか卒業し、現在はS社勤務。昨年の秋に結婚し、今年から行徳あたりに生息。OB会幹事になっての一言: いやー自分じゃ役不足と思ってたら、本当に何の役にも立たないことが今わかりました。それでもめげずに、世のため、自分のため、LG OBのため頑張っていきたいと思いますので、ご指導の程よろしく願います。

みなさまこんにちは。この度幹事を仰せつかりました大嶋と申します。私は'88年入学で、 Drs.をたたいておりました。これを読んでいらっしゃる多くのみなさまと比べますと、私などはロスガラと関わってまだ日も浅い方ですが、月日を重ねるに従いロスガラのよさ、ロスガラに関わる人達のすばらしさ、またその人達と関わっているよろこびをますます実感しております。そんなロスガラが明るく元気にますます発展することを願ひ、会費の納入等にご協力を願ひ致します。(おっと、いきなりかい!) あっ、申し遅れました。私、主に会計業務を担当することになりました。どうぞよろしく願ひ致します。

大先輩に聞く

谷川越二さんのこと(つづき)

大佐古 晃 ('71年入学)

昨年11月に発行された前号のOB会報にて、ロスガラチェロスの名付親である谷川越二さんに30周年記念CDを贈りたいが住所がわからないという内容の拙稿を採り上げて頂いたが、その後進展があったのでここに報告させて頂く。

前号の会報の原稿を昨年10月に書いてからは以前にも増して何とかして谷川さんの連絡先を捜し出さねばと思っていたのであるが、実際に捜し出したのは私よりラテン音楽に興味を持っている私の妻であった。ラテン音楽専門誌「ラティーナ」の編集事務所で谷川さんに郵便物を取り次いでくれることがわかった。

12月に入って定期演奏会が近づいたので30周年記念CDとは別に演奏会の招待状をまずお送りすることをOB会事務局にお願いし、少し遅れて私は谷川さん宛てにあいさつ状を書いた。その手紙の内容は、覚えておられないかも知れないが谷川さんにロスガラチェロスの名前を付けて頂いたこと、定期演奏会にお越し頂いたことがあること、その後すっかり御無沙汰してしまったこと、現在のロスガラはラテンよりもジャズを中心に演奏活動を行っていること、山野のコンテストで何度か賞を獲得するくらい演奏がうまくなったこと、別便で30周年記念のCDを送ったので受け取って欲しいということなどであった。

今回このようにして谷川さんに連絡をとることができたのであるが、これに対して谷川さんから御返事を頂いておりその全文がこの会報の別の欄に掲載されているので読みたい。既にそちらを読まれた方はその御返事の中でお贈りしたCDのことにも私のあいさつ状のことにも触れられていないのに気づいておられるかも知れないが、その理由は私が昨年12月にあいさつ状をお送りするタイミングを逸してしまい、まず定期演奏会の招待状だけが事務局から郵送され、その時点で早々と谷川さんが御返事を下さったためである。そんなわけでCDを聴いて頂いた感想までは残念ながらお伺いすることはできなかった。

なお谷川さんより住所と電話番号を下記のとおりお教え頂いたので、今後は毎年定期演奏会の招

待状をお送りしてはと思う。

御住所

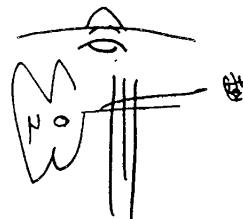
お電話

最後にこの原稿を書きながらふと考えたことは、もし名前がロスガラチェロスでなかったら30年も続かなかったのかも知れないということ。ともあれ陽気な仲間たちの名前をくださった谷川さんに感謝して筆を置きたい。

～谷川越二さんからの御返事～

幾星霜、ということばがある。ラテンアメリカ音楽の解説やら評論やらを業としている私に「楽団名をつけてください」との便りがとどけられたのは、いつのことだったのか。どのような顔ぶれか、編成かも知らぬままにその熱文に、命名を依頼してくれた嬉しさに思い重ねたのが、ロス・グアラチエーロス（陽気な仲間たち）だった。かのキューバにはロス・グアラチエーロス・なにがしを名乗るグループがいくつもあった。これだ！もし完璧に名乗るならロス・グアラチエーロス・ユニベルシタリオス・ポルテクニコス・デ・トーキョーなのだろうが、そしてメキシコの大学グループにはこんな長々名称のいくつもがあるが、ここは日本。東京キューバン・ボーイズをもじったトーコー・キューバン・ボーイズも頭に浮かんだのだが、どうも今風に言うなら“マンガチック”である。すっかりロス・グアラチエーロスがいい。

幾たびか、お便りを受けた。呼び、または読みやすさからかグアがガに変わってしまった。オルケスタ・デ・ラ・ルスなどハボン（日本）のバンドがよその国々でも大成功しているこんにち、言ってみればこんな小難しいスペイン語のバンドが存在する今、ガラチエーロスはグアラチエーロスとただしていただきたい。略愛称“ロスガラ”は、永遠にそのままがいいから。そう、永遠に！永遠に！



谷川さんの署名(?)

大好評連載 第4回

「嗚呼！ロスガラの妻たち…」

今回も必見 新妻篇

好評の「ロス妻」、前幹事から引き継いで連載が決定した。今やOB会報の看板コラムと呼んで差し支えないだろう。今回は大胆にも、結婚1年以内の妻たちに執筆を依頼、新幹事就任を記念して3人の新妻が快く引き受けてくれた。夫との出会いや新婚生活を今、赤裸々に語る。

森丸(柴)直樹の妻、千里の場合
拝啓 雲間の一閃の光りでさえも目にまぶしい季節となりました。

大岡山「絲」にて、高貴ふんぶんたる装いで酒肴をお楽しみの方々がロスガラの方々とはつゆ知らず、度々座を共させて頂くこと数年。にもかかわらず！昨年お初に祭での皆様のお姿を拝見し、その凛々しさ、その華やかさは比類なきものとして私の胸に静かな感動が刻まれたのでございます。

さて秋も暮れようとする或る夜のことでございます。神々しい光りを地になげかけている月とは裏腹に私の胸は厚い暑い雲に覆われ、一人静かに絲にて杯を重ねておりました。

そのとき初めて、それは忘我の境地という神秘的な経験であったことを、かの森丸氏より知らされ、また同席の方々もそれはまだ初心の域であり、やがては心を厚い雲で曇らせることもなく、忘却のかなたへの旅へ嬉々として誘われるようになると申されておりました。

やがて、森丸氏が私にとってハリソン・フォードとダニー・デビートを足したような存在として胸に深く刻み込まれるようになるにつれ、皆様との忘我の境地へ至るための会合も増え、私の人生をいっそう明るく、楽しいものにしたのでございます。

森丸氏とのお付き合いの短い期間中にも、電話で数分後に面会のお約束をした直後！私は忘我のみならず、忘却の極致へ旅立ち、森丸氏は長い時を、美しい満天の冬の星座の光りの恩恵にみだされていたのだそうでございます。

また婚姻後、皆様と会津高枝への旅へご一緒致しました際には、私の心の覚書は爽やかな風への

り、ささやかな断片と、さあ何と申しましょうか…刺激のある痛みをもった一円の蒼さを私の腰のあたりに残し、飛び立って行ったのでございます。

そのような神秘的な経験に私の心はとらえられてしまい、今ではもう、如何ような時、如何なる所であろうとも皆様の会合であるならば森丸氏に供するようになったのでございます。

このような私ではございますが、今後ともお仲間に入れて頂けるならば至福の喜びでございます。どうぞ宜しくお願い致します。

それでは皆様のますますのご健康をお祈りしつつ、手を休めたいと思います。

かしこ

1995年7月吉日

筆者注

(1) ごめんね、森丸さん寒かった？

(編集部注：家で言えば済むでしょ、もうまったく！)

(2) 酒気を帯びての馬跳びは、大変危険です。注意しましょう。

鈴木章夫の妻、かおりの場合

わたくしは平成6年10月にロスガラの妻になりました。ロスガラとのおつきあいはその2、3年前からになります。

当時既に章夫氏はOBでしたので、わたくしは皆さんの現役時代の過酷な練習ぶりや、昼夜を問わず真面目に学問に励んでいらした姿を知りません。ですから初めて皆さんを知った頃は、自分なりに抱いていたステレオタイプな「理系のひと」「ジャズのひと」のイメージと、目の前にある実像とのギャップにとまどいを覚えました。当時の印象は、なんだかやけに騒々しいしユニークな人が多いなあ、なんて酒を呑むのだろう、そしてずいぶん仲がいいなあというものだったと思います。(「ジャズのひと」に関しては後日章夫氏からロスガラはジャズはジャズでもラテンジャズだから明るいんだよ、ときいて、そういうものか、と思いました。そうなんですか?)

月日は流れ、騒々しく仲が良い集団というイメージは当初とまったく変わりがありませんが、「お酒をよく呑む」に関しては、「世間の人には酒量が少なすぎるのではないか」という夫の意見に深く頷いてしまう今日この頃です。我ながら恐ろしいほどの変貌ぶりです。

そんなわけで(どんなわけだ!), ロスガラの妻となつて9ヵ月、ロスガラの人達にはとてもお世話になっております。結婚披露宴で演奏して頂いたのを皮切りに、結婚祝として頂いた数々の鍋や、その鍋を囲んで皆さんと繰り広げた狂宴、日に日に夫が似てきている信楽焼の狸抜きには私の結婚生活は語れません。つい先日には、そのユニークな芸風で出席者一同(除くロスガラ)を啞然とさせたクイズや素晴らしいバンド演奏といった盛りだくさんのプログラムで、ロスガラ流二次会も催していただきました。(皆さんその節はありがとうございました。)

こうして振り返ってみるとわたくしは、妻歴浅いながらも、ロスガラの妻である醍醐味を満喫していると言えるかもしれません。これからも数ある諸先輩に少しでも近づくべく、正しいロスガラの妻道を究めるため、日々精進していきたく思います。(ああ、昨日は呑みすぎて頭がいたい.....)

それだけです。

大嶋俊一の妻、沢子の場合

「新婚 海鞘²のわが家から~」

この度、「ロスガラの妻たち」の末席を汚すことになりました堀-大嶋 沢子と申します。新婚特集ということで出て参りました。

思えばあれは7年前、花の東京、桜散る東工大キャンパスのロスガラ部室を初めて訪れた時には、この中に未来の花ムコがいるなんて知るよしもありませんでした。ちなみにロスガラ初日のインプレは、「ヒゲの洪-いオジサンがいる(ハ_)」

(cf.くがさん)、「ひえーっ! 楽器のローンに40回払い!」(cf.道₃さん)です。

その後、現役時代さんざんムチャもしましたが、... 中省略... こんな私のおムコになってくれる人が見つかり、今では甘い新婚生活をおくっております。ヘッヘ。

過去の例をさかのぼってみれば、ロスガラ妻の心得(?)のひとつに、「飲み会では毅然とした態度でダンナを連れてかえる」というのがあった気がしますが、我が家では今までのところ全く逆です。

「いかにしてダンナを飲み会に連れ出すか」
(私一人では行かせてもらえない...)

「いかにしてダンナを酔わせて先に寝かしてし

まうか」(私もハメはずしたあーい)。

そう、ロスガラでありながらロスガラ妻であるという、両立の難しさが時に私を悩ませます。

ともあれ、都会の砂漠でドライな毎日を送っているあなた、愛と感動の涙にむせびたくなったら、挙式のビデオでも観にいつでも我が家にお越しくください。BGMは、ユー・アー・ザ・サンシャイン・オブ・マイ・ラーイフ♪ 今ならもれなく、タコ焼き、ホヤ焼き、ホタテ焼き大サービス。

最後に私の好きな言葉をひとつ

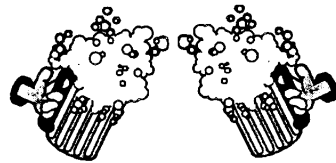
When you realize you want to spend the rest of your life with someone, you want the rest of your life to start as soon as possible. (from "When Harry Met Sally")

訳すと、

「あんたこのチャンスを逃したら大嶋さんみたいないい人とは二度と会えないわよ!」(by うちの母親) ちゃんちゃん

編集部注

(3)髭を生やした田中(85年入学)を表す象形文字をその源とする漢字。現在では、漢和辞典にも収録されている。



僕らの夏は何処へ...

~斑尾 Jazz Fes. 中止!~

ロスガラにとって重要な夏期行事、それはジャズフェスティバル乱入である。ところが、遠距離にもかかわらず我々を毎年引き付け、現役夏合宿の日程にも組み込まれるNewport Jazz Festival in 斑尾が今年は中止される。

新聞報道(朝日新聞'95年4月15日夕刊)によると、前年までスポンサーとして運営費(1億5千万円)の4割を負担してきた某大手運送会社との3年契約が切れ、新たなスポンサーを探したが、不景気のため見つからなかったとのこと。

しかし、主催の斑尾高原観光協会は、「中止はあくまでも今年だけ」と話し、来年には復活を目指しているとのことである。来年こそはぜひ期待したい。

ロス・ガラチェロスOB会

海外支部活動報告

光木 史朗 ('80年入学)

ロスガラOBならびにご家族の皆様方におかれましては御健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。私こと光木史朗は、昨年の8月から米国のアナーバー(Ann Arbor)というところでUniv. of Michiganの学生として生活しています。アナーバーは、エリー湖、ヒューロン湖、ミシガン湖に囲まれたミシガン州の田舎町で、自動車で有名なデトロイトから西に約60kmに位置します。基本的に大学以外には何も無い田舎町です。北海道と同程度の緯度で内陸に位置するため冬は長く寒く、そして湖に近いので雪が降ります。今年の冬は暖かくマイナス20度程にしか気温が下がりませんでした。とはいえ、私にとっては初めて体験する温度で、呼吸をすると鼻毛が凍ってしまうことがわかりました。ようやく長い冬も終り、現在は連日雷雨に見舞われているところです。

そんな場所で、宿題と試験に追われる日々を送っているわけですが、私の乏しい英語力では、日本で学んだ回文や駄じゃれの数々を米国で広めることもままならず、お花見もできぬまま、欲求不満が募ります。留学生が多く、インド人とも知り合いになりましたが、小心者の私には「インド人の恩返し」の話をすることもできません。とはいえ、楽しいことも多くあります。大学の町であるだけに、小さい割には文化に対する関心が高く、先日もかのマエストロ、ティトプエンテさんのコンサートが大学構内で行われ、入場料が最高でも\$20というのはいかばかりです。この他私の行った(行くであろう)コンサートのうち主なものを列挙しますと、チックコリアさん、ロイハーグローブさん、秋吉敏子さんとルータバキンさん、渡辺貞夫さん、ハリーコニックジュニアさん、ジョージベンソンさん、アースウインドアンドファイアさんと言ったところで、こうして見ると自分が無節操でミーハーなことがよくわかります。この他、夏から秋にかけては地元のミュージシャンによる屋外での演奏がしばしば行われますので、斑尾に行けず欲求不満の私はせせせと足を運ぼうと思っています。

そんなわけで、30うん才にして久々の学生生活

を再び楽しんでます。成績が気になるのと宿題が大変なのが10年前との違いです。それでは皆様お元気で過ごしてください。

米国の穴場、アナーバーにて

特報 ロスガラ30周年記念CD 待望の再プレス決定

音楽番組がめっきり少なくなった昨今、アルバムのセールスはその影響をまろに受けています。ドリカムやサザン、ユーミン、C&A、小室哲哉などコンスタントなセールスを続ける大物の後ろでは、カラオケやCMソングの助けを借りて、大物の隙間を縫いながら生き延びている小物がひしめき合っているのが現状です。

ロスガラ30周年記念CDは、枚数こそドリカムにはかないませんが、カラオケやCMソングと無縁でありながら、確実にセールスを伸ばし、初版プレスを完売。この度、再プレスが決定されました。不景気の中、再プレスには思ったよりも制作費がかかり、初めは1セット5万円の値が付けられましたが、OB会長が私財を投げ打ち、OB幹事は夜なべ仕事の報酬を資金にあて、ようやく初版プレスと同じ、4千円で頒布できる運びとなりました。

再プレスは100セット限定、装丁は完全復刻、ロスガラファンには垂涎もののレアアイテムでしょう。購入をご希望の方はOB会幹事の大嶋までお申し込みください。売り切れの節は、御容赦ください。

新澤健一郎 ライヴスケジュール

8/26(土) 六本木PitInn

Open 6:30pm, Start 7:30pm ¥3,000-

「O-H i e」

平山恵勇(ds), 佐藤達哉(ts, ss), グレグ・リー(b), 竹中俊二(g), 新澤健一郎(pf, key)

9/7(木) 六本木PitInn

Open 6:30pm, Start 7:30pm ¥3,000-

「TRINITY」

新澤健一郎(pf, key), グレグ・リー(b), 平山恵勇(ds)

ロスガラ出身、ついにリーダーバンドを結成した、新澤君('87年入学)。みんなで応援に行こう。

祝20000通突破記念

大LGML史

菅理人こと菅野 博靖 ('79年入学)

地球という惑星が大宇宙に誕生して46億年、LGML(ロスガラ・メーリングリスト(*))が産声をあげてからこの夏で5周年を迎える今、LGMLの歩んで来たこれまでの歴史を書き留めるべき時期(とき)がきた。この5年間、大きく変貌し、肥大化してきたLGMLの発展の軌跡を以下にまとめてみたい。

1) 人類のあけぼの

ある時、我々の祖先は道具を使い始めた。モノリスに触れたように、地球に張りめぐらされていたネットワークを使って、言葉をしゃべり始めたのだ。明確な記録には残っていないが「おはようございます。私もやっと電子メールが遅れるようになりました。よろしく。」といった極めて素朴な会話がなされていたようだ。

2) 先史時代

先年発掘された貴重な資料の分析によると、1990年7月最初の試みが始められた。ネットワーク上にサーバを置きLGMLが開始されたのだ。当初、メンバーは11人。当時は通し番号もなく、すべてのメールを記録することもせずにいたため、その頃の文化・慣習についてはしばしば考古学者の議論の対象になっている。

3) 歴史時代のはじまり(#1--)

1991年6月21日突如として、LGMLのメールに通し番号が振られるようになる。この時からLGMLの記録がすべて残されているのだ。当時の記録を振り返ると、合宿・工大祭・定演、そして宴会情報など、一般のサークル活動系MLとさほど変わぬ内容がやりとりされている。メール数も多い日でも10通程度という、いたってのんびりした時代が約一年続く。しかしこの間、高梨(S52(**))、土屋(S52)、田名部(S63)といった強者達の参加によって後のLGMLの発展の基礎が築かれている。

4) 文化の大変革(#466--)

1992年6月1日大変革が起きる。変革者山崎(S56)の参加は、それまでのLGML文化を大きく変貌させることになった。この類稀なる技術者は、LGMLを電子メールというメディアの限界を見極める壮大な実験場へと変えた。これは同時にメール数の増加を誘発するものであった。次第に増加したメール数は10月以降30周年記念CD作成の時期とも重なり一日20通30通がざらに。そして1993年を迎えて一気に爆発することになる。当時の文化で特筆すべきは「それだけです」の流行、およびその様々なバリエーションが開花したことである。

5) Nifty 文化の台頭(#4108--)

大手パソコン通信がインターネットとの相互運用を開始。1993年9月以降 Nifty-Serveからの民族大移動を迎えたLGMLは、新たな風に吹きさらされることになった(首謀者は鈴木(S60)、阿部(S60))。1993年10月の鈴木への加入は、君臨していた山崎を脅かしLGMLは戦国時代へと突入する。この頃 LGMLにおけるメール作法は急激に発展し、一般人には理解不能なメールが飛び交う独自の文化を築きつつあった。Nifty 文化台頭の背景には、LGMLの mget/digest サービスの充実があることは指摘すべきであろう。また Nifty からの現役の参加によって、OBと現役との連絡が緊密になったのもこの時期の大きな変化である。

6) LGMLの成熟(#8086--)

1994年4月になると戦乱は激しさを増す。この頃現れた高澤(S54)は、混乱を鎮めようとするも火に油を注ぐ結果に。しかし高澤の文筆作法はそれまでの文化に刺激を与え、LGML文化は百花繚乱の成熟期に入る。折しも、世はインターネットがブームとなり、日米政府要人へも電子メールが送れる時代。現役やそれに近いメンバーの多数の参加もあり、一日平均50通を超えるメールがネット上を流れるようになった。当時、LGMLならではの話題として、原人コッツをめぐる先端技術がホットな議論になっていた。

7) LGMLのいま(#14878--)

1995年に入って超高位OBの参加が相次いだ。山田(S49)と小林(S43)である。彼らの意外なほど

のアクティブな活動は、まさにロスガラ人の規範とすべき姿だと言える。LGMLは1995年7月15日現在、参加者は69名(何故か夫婦が3組)、通し番号は20000を超過し日によっては100通を超えるメールが行き交う巨大メディアに成長した。入学年度にして25年、親子程も年齢差がある人間がロスガラをキーにして、音楽論、技術論を超えた誰も経験したことのないサイバー空間を構成する。ちょっとどころではない異様な世界である。

私も体験したいという方は、管理人の菅野(S54)まで連絡のこと。会社や大学でインターネットに接続されてなくとも、自宅にパソコンとモデムがあれば大手パソコン通信やインターネットプロバイダから参加可能。digestサービスにより多数のメールをまとめて送ることもできるから、多い日も安心!

(*)インターネットを利用した電子メールによるロスガラ関係者のための情報交換の広場

(**)人名括弧内は入学年度

若い人達は どうしてるかな

現役活動報告

僭越ながら最近の現役の活動状況をお知らせします。ちなみに私、本年度マネージャーの矢野と申します。一部では「柿ピーボンバー」で通じる方もいらっしゃるかと思います。

今年も新入生が大勢残っています。毎年、新歓コンパや春合宿でふるいにかけて、5月頃にはほぼ固まってしまうのですが、今年はふるいの目が大きかったのか、最近になってやっと顔触れが落ち着いたような感じです。とはいえ、現在C年は18人もいて、前年比1.5倍です。今年のC年はなかなか優秀な人材もいて、既にレギュラーにのっている者もいれば、既に絲に出入りしている者もいます。更に他大学からD年2人、他バンドに入っていたE年東工大生1人も新たに加わり部室は狭くなる一方です。このD年は2人ともスーツが普段着に見えます(一方は銀行員、もう一方はホスト系)。

四工大L.S.B.C. BIGBAND4、5大+1もっと仲良しコンサートと、御陰様で素晴らしいステージを繰り広げることが出来ました。特に5大+1で

は、昨年に引き続き今年も野外で気持ち良く演奏することができました。

現在は前期のヤマ場、山野BIG BAND JAZZ CONTESTに向けての練習をしています。曲も決まり、具体的に動き始めたといったところです。今年は、Matt Harrisのナンバーから「Cabeza De Carne(肉の頭)」と、なんとMicheal Camiroのナンバーから「Why Not!」を、そして毎年恒例のロスガラのテーマの3曲で、山野をモノにする予定です。

最後にこれからの活動予定をお知らせします。これからもロスガラ現役一同、更に頑張っていきますので、OBの皆様のあたたかい御声援を宜しくお願い致します。

・7/28(金)~8/4(金) 夏合宿

今年も信濃平、グリーンシャトーみやざわにて行います。今年は斑尾ジャズフェスティバルが無くなってしまい残念です。

・8/12(土),13(日) 山野 BIG BAND JAZZ CONTEST

日本青年館でロスガラの出演は2日目2番目、8/13の10:50~です。朝早いですがどうぞお越し下さい。チケットは部室でも販売しています。前売り通常¥1,700のところお値打ち価格¥1,000です。

・8/18(金),19(土) 西海岸で仕事

今年初めての仕事演奏で、伊豆半島土肥温泉に行きます。慶応大学K.M.P.と一緒にお盆のアトラクションをやります。

・10/14(土),15(日) 工大祭

お酒ものめるジャズ喫茶と屋台の2本立て。

・12/16(土) 第29回定期演奏会

ロスガラ1年間の集大成を新橋ヤクルトホールで。今年もやります。

編集後記

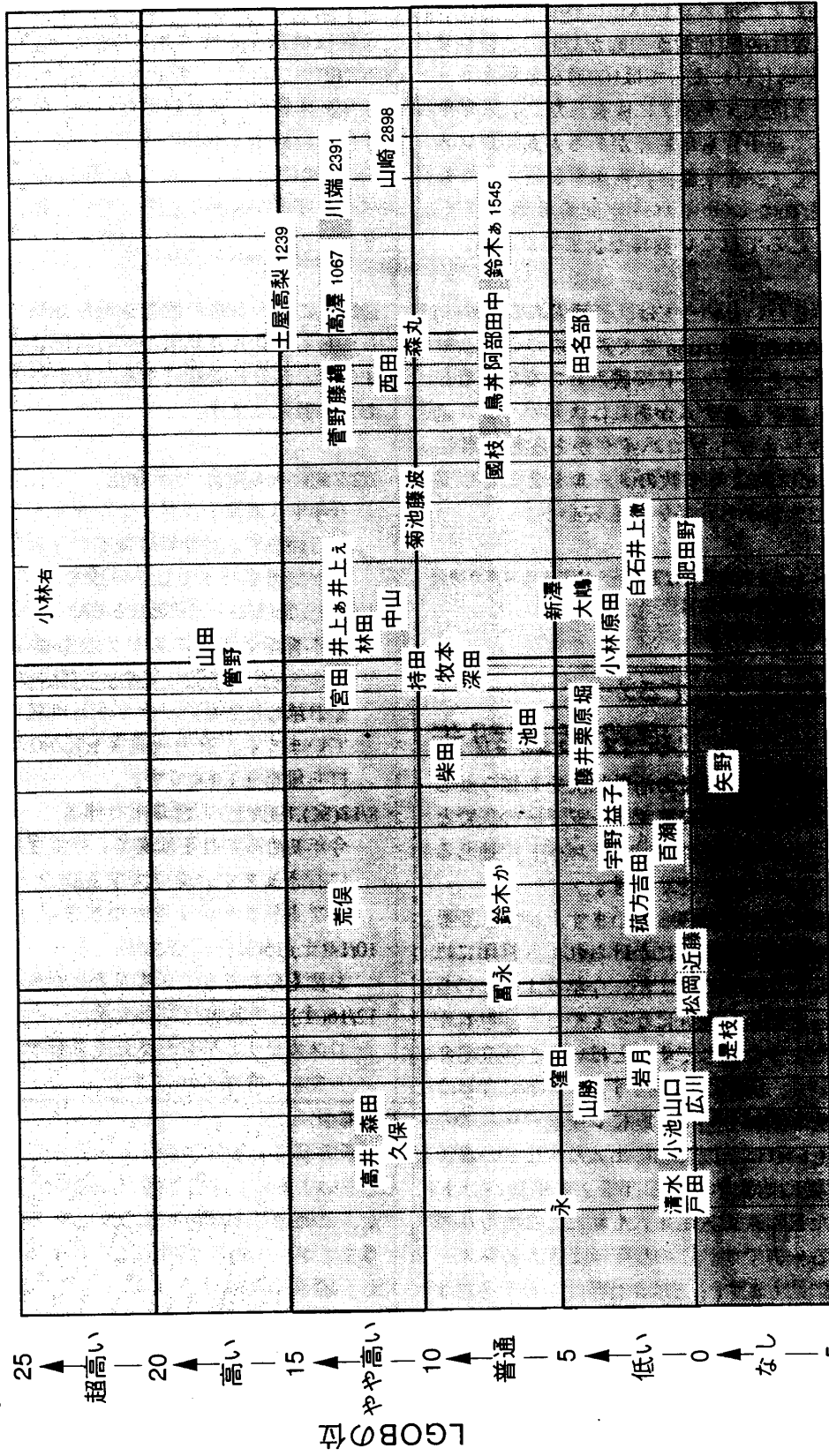
新幹事によるOB会報、今までのものに見劣りしないようにと、各方面から原稿を集めたのですが、集め過ぎ!見劣りはしないものと自負しておりますが、代わりに(?)見にくくなってしまいました。幹事の張り切りぶりに免じてお許しください。次回こそは。

OB会および会報についてのお問い合わせは、
くによた 國枝 までお気軽にどうぞ。

では、山野BBJCでお会いしましょう。

別冊特別付録⁹⁹ これがLGMLランキングだ！！

[OB年数]



1 ——— 仕事第一 ———→ 10 ——— 普通 ———→ 100 ——— 仕事しようよ ———→ 1000 ——— これが仕事 ———→ 10000 [件]

LGML投稿ランキング (#20000時点)